

## 平成22年11月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年4月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 霜田 俊憲

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日

TEL 03-5600-0122

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年11月期第1四半期の業績(平成21年12月1日～平成22年2月28日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第1四半期	634	△10.9	△30	—	△23	—	△20	—
21年11月期第1四半期	712	—	10	—	11	—	11	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第1四半期	△7.33	—
21年11月期第1四半期	4.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第1四半期	8,172	6,869	84.0	2,435.99
21年11月期	8,145	6,953	85.4	2,465.90

(参考) 自己資本 22年11月期第1四半期 6,869百万円 21年11月期 6,953百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	0.00	—	22.50	22.50
22年11月期	—	—	—	—	—
22年11月期(予想)	—	0.00	—	22.50	22.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年11月期の業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,476	1.2	40	△35.7	47	△31.3	19	△53.2	6.97
通期	2,755	0.6	42	25.9	58	26.8	20	23.6	7.33

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年11月期第1四半期	3,339,995株	21年11月期	3,339,995株
② 期末自己株式数	22年11月期第1四半期	520,061株	21年11月期	520,031株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年11月期第1四半期	2,819,934株	21年11月期第1四半期	2,819,974株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における日本経済は、一部に景気の持ち直しが見られるものの、企業収益は依然として低迷し、雇用情勢・所得環境が一段と厳しさを増すなか、個人消費の伸び悩みや消費者の節約志向が強まるなど、依然厳しい状況にありました。

また、当社の属するアウトドア関連産業も、個人消費低迷の煽りを受け、全般に低調に推移いたしました。

こうした状況の中、当社では、売上規模の拡大よりも利益体質を強化することに努め、営業活動を続けてまいりましたが、消費低迷の影響により販売は苦戦いたしました。その結果、当第1四半期会計期間の売上高は6億34百万円(前年同四半期比10.9%減)となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、売上高の減少に伴う利益の減少により、営業損失は30百万円(前年同四半期は営業利益10百万円)、経常損失は23百万円(前年同四半期は経常利益11百万円)、四半期純損失は20百万円(前年同四半期は四半期純利益11百万円)となりました。

## &lt;フィッシング用品&gt;

フィッシング用品に関しては、フライ用品の販売が比較的堅調に推移する一方で、ルアーロッド(釣り竿)をはじめとするルアー用品や偏光サングラス等において高額品を中心に販売が苦戦いたしました。その結果、フィッシング用品の売上高は2億88百万円(前年同四半期比21.4%減)となりました。

## &lt;アウトドア用品&gt;

アウトドア用品に関しては、本年2月の寒暖差の影響による春物衣料立ち上がりの遅れ等があったものの、女性物を中心とする秋冬物衣料及びバッグ、ザック等のアクセサリ類が堅調に推移いたしました。その結果、アウトドア用品の売上高は、3億41百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

## &lt;その他&gt;

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期会計期間に関しては、不動産賃貸収入の減少により、その他売上高は4百万円(前年同四半期比36.3%減)となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1)資産、負債、純資産の状況

## ①資産

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ27百万円増加し81億72百万円となりました。

流動資産は、季節的な影響による商品棚卸高の増加などにより、前事業年度末に比べ73百万円増加し、46億87百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産の保証金の償還36百万円などにより、前事業年度末に比べ46百万円減少し34億85百万円となりました。

## ②負債

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億11百万円増加し13億3百万円となりました。

流動負債は、仕入が集中する季節的な影響による支払手形及び買掛金が増加した事により、前事業年度末に比べ1億10百万円増加し7億86百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加などにより、前事業年度末に比べ1百万円増加し5億16百万円となりました。

③純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ84百万円減少し68億69百万円となりました。これは主に、前事業年度決算の配当支出などによる利益剰余金の減少84百万円によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ4億35百万円減少し、7億98百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、91百万円(前年同四半期の得られた資金は1百万円)となりました。これは主に、仕入債務の増加1億3百万円などによる資金の増加の一方、たな卸資産の増加1億99百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億99百万円(前年同四半期の得られた資金は24百万円)となりました。これは主に、定期預金の預入れと払戻しによる差額支出2億30百万円や、有価証券の取得と償還による差額支出1億円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、44百万円(前年同四半期の使用した資金は56百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算の剰余金処分の配当支出53百万円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年1月18日発表の「平成21年11月期 決算短信(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前事業年度末における実地棚卸を基礎とした合理的な方法により算出しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,690,135	1,592,473
受取手形及び売掛金	495,717	513,300
有価証券	1,303,898	1,506,501
商品及び製品	1,123,791	926,527
その他	75,082	75,944
貸倒引当金	△1,487	△1,517
流動資産合計	4,687,138	4,613,231
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	866,980	878,684
土地	2,011,097	2,011,097
その他(純額)	41,658	39,502
有形固定資産合計	2,919,736	2,929,283
無形固定資産	65,830	69,166
投資その他の資産	499,774	533,753
固定資産合計	3,485,340	3,532,204
資産合計	8,172,479	8,145,435
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	599,683	496,593
短期借入金	13,000	—
未払法人税等	6,465	12,361
返品調整引当金	9,007	24,500
賞与引当金	16,211	—
店舗閉鎖損失引当金	11,065	11,065
その他	130,891	131,685
流動負債合計	786,323	676,206
固定負債		
退職給付引当金	116,700	113,981
役員退職慰労引当金	345,093	342,067
その他	55,028	59,501
固定負債合計	516,822	515,550
負債合計	1,303,146	1,191,756

(単位: 千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,218,912	2,303,041
自己株式	△290,193	△290,193
株主資本合計	6,870,166	6,954,295
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△834	△616
評価・換算差額等合計	△834	△616
純資産合計	6,869,332	6,953,679
負債純資産合計	8,172,479	8,145,435

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
売上高	712,065	634,801
売上原価	365,763	343,253
売上総利益	346,301	291,547
返品調整引当金戻入額	27,391	24,500
返品調整引当金繰入額	9,938	9,007
差引売上総利益	363,754	307,040
販売費及び一般管理費	353,254	337,643
営業利益又は営業損失(△)	10,499	△30,602
営業外収益		
受取利息	5,482	3,239
受取配当金	280	238
為替差益	—	2,965
その他	54	540
営業外収益合計	5,817	6,982
営業外費用		
支払利息	90	17
為替差損	1,898	—
投資事業組合運用損	2,927	—
その他	4	0
営業外費用合計	4,920	17
経常利益又は経常損失(△)	11,396	△23,637
特別利益		
保険解約返戻金	16,203	—
特別利益合計	16,203	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	779
特別損失合計	—	779
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	27,600	△24,416
法人税、住民税及び事業税	12,667	4,258
法人税等調整額	3,076	△7,994
法人税等合計	15,743	△3,736
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,857	△20,680

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	27,600	△24,416
減価償却費	21,612	19,849
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	41	4,295
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△17,453	△15,493
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,397	16,211
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,109	2,719
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,842	3,026
受取利息及び受取配当金	△2,430	△3,477
支払利息	90	17
為替差損益 (△は益)	440	△538
保険解約損益 (△は益)	△16,203	—
店舗閉鎖損失	—	779
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,509	13,257
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△315,333	△199,656
仕入債務の増減額 (△は減少)	369,180	103,089
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,212	△720
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	14,168	7,891
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△39,612	△12,437
その他	3,873	76
小計	28,385	△85,524
利息及び配当金の受取額	4,604	4,552
利息の支払額	△90	△4
法人税等の支払額	△31,016	△10,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,883	△91,168
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△320,600	△950,600
定期預金の払戻による収入	220,000	720,000
有価証券の取得による支出	—	△200,000
有価証券の償還による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△4,707	△4,710
無形固定資産の取得による支出	—	△559
保険積立金の解約による収入	29,356	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	36,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,049	△299,869

(単位: 千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,042	△4,398
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	13,000
自己株式の取得による支出	△15	—
配当金の支払額	△52,844	△53,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,901	△44,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△440	538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△31,410	△435,340
現金及び現金同等物の期首残高	827,066	1,234,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	795,656	798,978

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 品目別売上高明細

(単位：千円)

品目		前第1四半期累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)		当第1四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
フィッシング用品	ルアー用品	136,971	19.2	99,536	15.7	△37,435	△27.3
	フライ用品	147,528	20.7	148,249	23.3	+721	+0.5
	その他フィッシング用品	83,095	11.7	41,049	6.5	△42,046	△50.6
	小計	367,595	51.6	288,835	45.5	△78,760	△21.4
アウトドア用品	アウトドア衣料	296,211	41.6	288,944	45.5	△7,267	△2.5
	その他アウトドア用品	40,741	5.7	52,234	8.2	+11,492	+28.2
	小計	336,953	47.3	341,178	53.7	+4,225	+1.3
その他		7,516	1.1	4,786	0.8	△2,729	△36.3
合計		712,065 (26,367)	100.0 (3.7)	634,801 (26,010)	100.0 (4.1)	△77,263 (△357)	△10.9 (△1.4)

- (注) 1. 数量については、同一品目の中でも種類が多く、かつ仕様も多岐にわたるため記載を省略しております。  
 2. ( ) 内は、輸出高及び輸出比率であり、内数であります。  
 3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。